

# 水げん通信

サンズ [SONS: Sources of New Streams]

水かおる早良区

“心地よい時間”の流れるまちづくり

第7号 2009年 新春号

玉井てるひろ

〒814-0171 福岡市早良区野芥 3-26-7

TEL.092-405-3000 FAX.092-405-3001

E-mail: ttamai@ray.ocn.ne.jp

URL: http://www.heartfultime.com

発行者: 福岡市議会議員 玉井輝大



新年明けましておめでとうございます。  
新しい年の風をうけながら  
スタッフ一同、がんばってま  
いります。  
本年もどうぞよろしくお願  
いいたします。

福岡市議会議員 玉井輝大

## 『もはや成長という幻想を捨てよう』

今回は、見事に“いま”を言葉にされる経済学者、佐伯啓思 京都大学教授の中央公論 12月号、「もはや成長という幻想を捨てよう」を紹介させていただきます。「不良債権処理のために投入される政府による巨大な資本は、ますます金融市場の資本過剰を助長してしまうのであろう。(中略) 金融市場は、いわば实体经济を人質にとり、政府を恫喝して金をゆすりとしているようなものであって、政府は、人質の安全確保のために、金融市場の要求する金額を提供せざるをえない。しかし、そうして手に入れた資本を養分にして、金融市場は、ほとぼりがさめたころには、またどこかでバブルを引き起こすことになる。」

「自由や民主主義の普遍化というアメリカのプログラムの挫折は、世界秩序を主導する理念の崩壊でもあった。(中略) 理念が崩壊すれば、むきだしの利益をめぐる確執が世界を動かすからである。利益の追求を背後から後押しするのは政治力と軍事力である。かくて、『利』と『力』がむき出しのままに衝突する可能性を今日の世界は生み出してしまった。」

「かくも豊かな社会が到来すれば、人々はもはやその関心を『モノ』には向けなくなるであろう。その結果、消費は低迷し、それが資本主義の長期的停滞をもたらすだろう、というのがケインズの予想であった。『豊かさの中の停滞』である。豊かさのまった中でこそ、資本主義は深刻な問題を生み出す。(中略) 『貧困への恐怖』と『豊かさへの渴望』がもはや経済活力の源とならない。(中略) もしそうだとすれば、規制緩和や市場競争促進政策は、いっそうの生産能力過剰をもたらすだけのことであり、それに伴う有効な需要の伸長がないとすれば、よほど無理なコスト競争、価格競争をしなければ企業は存続できないであろう。これは経済活動にあまりに過度な負担を強いることになる。この負担は、まさに、ワーキングプア、フリーター、派遣労働、所得格差、労働強化、産業空洞化、地方の疲弊という形で表れているのである。(中略) 今日、われわれは、消費者としてはできるだけ安いものを買おうとしている。投資家としては株で利益を得たいと思っている。しかし、そのことがまさに、市場競争を激化させ、組織的な労働を解体し、結果として、労働者としての『われわれ』は大変な目にあっているのである。」

「人々がモノにたいする渴望を失えば、残るのは、富の表象であるにすぎない貨幣そのものへのゲーム的な関心であろう。(中略) 『モノの必要』から『貨幣への欲望』という現代の経済構造が、その帰結として、ワーキングプアや所得格差といった『現代の貧困』を生み出し、また、資源や食糧の争奪戦という『希少性』を生み出すのである。『豊かさの中の貧困』といっても良いし、『豊かさゆえの貧困』といってもよからう。」

「ケインズが終生説いたのは、実は、グローバリズムへの警戒なのである。『頼魔的で国際的に個人主義的な資本主義が世界を駆けめぐり、国内経済を破壊することこそ、彼は恐れたのである。』それは、知的でなく、美的でなく、公正ではなく、有徳ではない。われわれは、それを嫌っている。いまやそれを軽蔑し始めている」とさへ彼は書いている。この『資本の気まぐれな浮動』から、一国の経済を守らなければならない。それこそが、ケインズをして、政府による資本の管理と公共投資を唱えさせた理由なのである。そして、住宅、個人的サービス、都市の美観、地方生活のアメニティ、といった『国際商品ではないもの』をこそ重視したのである。」

「『成長モデル』が求められているのではなく、『脱成長モデル』こそが求められているといわねばならない。生産力が過剰となった時代には、過度な競争によって一見、経済は活況を呈するように見えるものの、実際には、それは破滅への道に他ならない。このような時代に必要なのは、『競争』から『共生』への転換であり、自由市場からある程度管理された市場への転換である。」

この文章に対して京都大学社会学教授の大澤真幸さんは、「経済成長が仮に必要なとしても、われわれの社会はなおアウトピアを、救済の希望を託すことができる夢を必要としている。」とさらなる注文を付けています。わたしたちの「アウトピア・夢」は何ですか？ 私は“心地よい時間”の流れる社会だと思っています。最後に、F.D. ルーズベルトが大恐慌に登場し、第2次世界大戦終戦で死去した歴史を再認識し、改めて“平和”への決意をしなければならないと思っています。

## ● 市政相談タイム

市政のことでお困りなこと、ご意見をお持ちのこと、ありませんか？

次の時間と場所でご相談を承っています。  
どんなことでも、何人でも玉井と話にお越しください。

■時間 16:00～17:00

【予約なしでも構いません】

■場所 ○月・水・金曜日  
民主・市民クラブ議員控室  
(福岡市議会会議棟 11 階)  
TEL.092-711-4736

○火・木曜日  
玉井てるひろ事務所 (野芥 3-26-7)  
TEL.092-405-3000

## ● 玉井プロフィール

1951 年生まれ

1967 年 附属福岡中学校 卒業

1970 年 福岡県立修猷館高校 卒業

1975 年 京都大学工学部建築学科 卒業

1977 年 福岡市役所 勤務 (1989 年まで)

1988 年 プリンストン大学修士課程終了

1994 年 九州大学 非常勤講師

1994 年 都市計画工学会社設立 (現在まで)

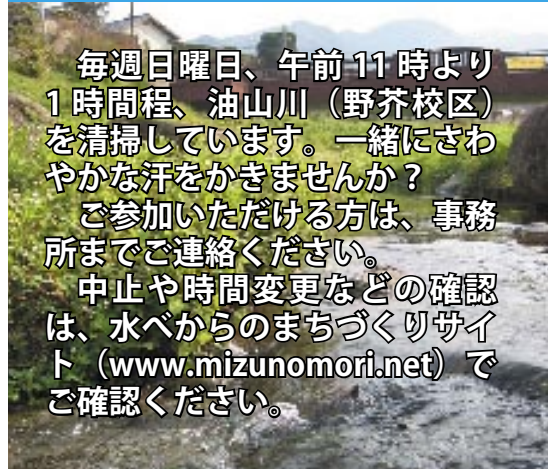
2000 年 佐賀大学 客員教授

2003 年 コピエインストール経営開始 (現在まで)

2007 年 福岡市議会 初当選



## ● 油山川定期清掃のお知らせ



毎週日曜日、午前11時より1時間程、油山川(野芥校区)を清掃しています。一緒にさわやかな汗をかきませんか？  
ご参加いただける方は、事務所までご連絡ください。  
中止や時間変更などの確認は、水べからのまちづくりサイト(www.mizunomori.net)でご確認ください。

## ● 水の杜活動

www.mizunomori.net

水の杜活動とは？

福岡市早良区野芥校区を流れる油山川を中心に、水べを観察、記録、報告活動をする“市民科学者”と、水べを清掃、美化活動をする“おそうじ隊”のメンバーによる、油山川を守り、良くしていく活動です。

市民科学者とは？

地域の方に、野芥校区を流れる油山川の水べ(汚れ、ごみ、植物、生き物)を定期的に観察、記録していただき、水の杜活動ホームページに報告します。

おそうじ隊とは？

水の杜活動事務局に市民科学者から多くの水べのごみの報告がある場合に、現場に出動して清掃活動を行っていただくメンバーです。

活動エリアはどこ？

ポイント1(野芥下天神橋)からポイント9(水源)までです。



● 小さな花いっぱいポイント 2～4



● 生き物で賑わうポイント 4



## 市民科学者とおそうじ隊メンバーを大募集！！

地元の財産でもある美しい油山川と一緒に良くしていきたいませんか？散歩がてらでも構いません。詳しくは下記のホームページ、または事務局まで。

## 昔の油山川の写真をお持ちではありませんか？

油山川の歴史を知るために、昔の写真を募集しています。お貸しいただける方はご連絡いただければ取りに伺います。

水の杜活動事務局 TEL.092-405-3000 (玉井てるひろ事務所内)  
URL http://www.mizunomori.net

※写真は飯倉小横附近(福岡市HP「福岡市内の河川の今昔」より)

## ● 小企業育成～コロラドのエコノミック・ガーデニング政策

「エコノミック・ガーデニング」とは、アメリカで注目されている地域経済活性化の政策のことです。コロラド州リトルトンでは、景気後退の真っ直中、移転優遇処置や税制優遇処置を提供して、域外の企業に来てもらい、雇用回復のための緊急処置(エコノミック・ハンティング)を模索する代わりに、地域の既存企業基盤から雇用を創出するための長期的な企業家戦略を導入しました。それは、「エコノミック・ガーデニング」と呼ばれ、これまでの企業誘致活動とは対照的に、“インサイド・アウト”、地元企業を育て、外に進出していくことを目指したモノでした。その信念は「企業家精神に溢れた地元中小企業は持続可能な富と新規雇用の原動力であり、リトルトンの役割はこれらの中小企業が活躍できる環境を創り出すことである。」という、シンプルなもの。そして、地域の産業創出及び雇用創出で高い成果を上げています。

今年コロラド州へ視察に行く予定を立て始めています。域外から企業を持ってくるのではなく、小さくても今ある企業を地元で育てていくことが、これからの経済振興策だと思います。



## ● 後援会会長 年頭の挨拶

新年あけましておめでとうございます。玉井てるひろ後援会、ならびにご支援頂いております皆様方におかれましては、よき新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、前回の選挙では皆様方のお力添えを戴きまして、玉井輝大君が福岡市市議会議員として新たにその第一歩を切らせて頂き、早2年が経とうとしています。新人としての1年目は、福岡市の財政再建をテーマに議会での発言を行い、2年目は早良区南部を中心としたまちづくりを提案致しました。また3月議会では“水かおる早良区”の実現を目指し、早良区における総合的な“水”のあり方を提案する予定であります。今後とも皆様方の力強いご支援とご鞭撻を玉井輝大に賜りますようお願い申し上げます。



玉井てるひろ後援会 会長 讃井靖彦